

「山地災害防止キャンペーン」を実施しました！（5/20～6/30）

広島県では本格的な梅雨期を前に、関係機関や市町等に山地災害による被害の未然防止を図るため、「山地災害防止キャンペーン」期間中（5月20日～6月30日）に次の取り組みを実施しました。

- ① ポスター掲示・パンフレット配布
- ② 事業説明会の開催
- ③ 広報誌への記事掲載

①については、6月2日に開催された『ひろしま「山の日」県民の集い』竹原会場において、防災意識の高揚に資することを目的とした「山地災害防止キャンペーン」の周知を行い、昨年の7月豪雨災害を踏まえ山地災害に備えるため、みなさんの暮らしを守る治山事業の「啓発パネル」なども掲示しました。

②については、災害復旧事業等の実施に係る事業説明会を、呉市・江田島市・東広島市・竹原市の10地区で開催し、災害から命を守る行動や山地災害危険地区などの情報を地元住民のみなさん約100名に周知しました。

【ひろしま（山の日）県民の集い】

【災害復旧事業説明会】



③については、「ひろしまの林業」6月号に「山地災害の防止について」の記事を掲載しました。特に自然災害が多発する時期（6月上旬～7月中旬）に災害から身を守るためには、危険な予兆を察知したうえで、安全な場所に避難すること、自らの状況に応じて適切に行動することに加え、被災地の復旧のため、早期に災害復旧事業等に取り組んでいくことを呼びかけました。

今後も、地域住民のみなさまに災害の未然防止のための行動や、治山事業の必要性を伝えて参りたいと考えております。